

有帆公民館だより

あいほ

<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp>

平成31年1月

NO.44

有帆公民館発行
TEL 84-4090(FAX同)



平成から新たな時代へ



～未来へつなごうふるさと有帆～

合同防災訓練(有帆小学校にて)



10月27日、有帆セーフティネットワークと有帆小学校が合同防災訓練を行いました。今回は山口県消防防災ヘリコプター「きらら」による救助訓練が小学校で行われ、見学者を含め約500人の参加がありました。

地震発生から小学校と各自治会が一時避難する訓練で始まり、小学校では消防団や防災士の指導によりAEDなどを体験し、公民館で

は保護者への児童引渡し訓練、最後に炊き出し訓練があり、昼過ぎに終了となりました。

避難訓練では、坂道を車椅子で移動する際、非常に危険を伴うため、1台に2人つく必要があると痛感しました。

これからも訓練を重ね、命の大切さを伝えるとともに安心・安全な街づくりに努めます。(有帆セーフティネットワーク 高橋 茂)

ようこそ♡合同学習フェスタへ

11月10日、第2回目となる有帆小学校との合同学習フェスタを開催しました。今回は小学校を会場とし、公民館クラブ生と小学校児童が日頃の学習の成果を発表しました。午後からは、友愛セールやビンゴ大会なども行われ、とても賑やかな1日となりました。

会場に足を運んでくださった皆様、また前日の準備を含め当日も朝早くからお手伝い頂いた皆様、誠にありがとうございました。



詩吟クラブの発表



1・2年生の発表



真向法クラブの発表



パッチワーククラブ作品



洋裁クラブ作品



有帆小2年
二井 虎珀

ぼくは、きんちょうせずに大きな声でセリフを言うことができました。たくさんのおきやくさんが、わらってくれたので、楽しくはっぴょうすることができました。



有帆小3年
竹中 咲樹

私は合奏でタンバリンをしました。むずかしいリズムだったけど、サビのところを大きな音でたたくようにがんばりました。本番は上手にできてうれしかったです。



3・4年生の発表



フラダンスクラブの発表



6年生の発表



卓球(昼)クラブ
兵地 正彬

進行係として、舞台の最前列で演奏・踊りなどに接しました。公民館クラブの皆さんと、小学校のお子さんたち、観衆が一体となって見事に融合。プログラムはいずれも完成度が高く驚きでした。



詩吟クラブ
伯野 訓子

私たちの発表の際、子どもたちが一緒に歌ってくれてとても嬉しく思いました。詩吟の魅力は伝わったでしょうか。また、子どもたちの発表では、一生懸命でかわいい姿を見て元気をもらいました！



白熱したビンゴ大会



「U.S.A」を踊った体験コーナー



大盛況のお茶席

歴史探訪館外講座 ～世界遺産を尋ねて～

今回も歴史探訪の館外学習に参加して、「世界遺産をたずねて」というテーマで萩の明倫学舎、恵美須ヶ鼻造船所跡、反射炉の他、旧福栄村のたたら製鉄所跡も見学しました。

各遺産跡では、ガイドさんの丁寧な説明で、当時の苦勞、熱意、工夫に感銘を受け、大変勉強になりました。

昼食は道の駅シーマートで楽しく、美味しく頂き、心配していた雨も見学中は何とか持ちこたえ、帰路の車中もワイワイがやがやと楽しい一日でした。次回も楽しみにしています。

(角石 三國達夫)



反射炉の前で

ふるさと学習 in 小学校

ふるさと有帆の良さを知ってもらうため、10月2日、小学校に「語り部の会」の安藤一さんを講師として招き、6年生を対象に公民館主催のふるさと学習を行いました。

学習後、百聞は一見にしかず、現地を見て話を聞くことが一番ということで、全児童の縦割り班による遠足が10月12日に行われました。

当日は16人の見守り隊の人と一緒に史跡を見ながら江汐公園へと、長い道のりでしたが、とてもいい体験になったのではないのでしょうか。



仁保の上古墳入口にて

＝出前防災講座開催＝ 自分の命を守るために

今年度から、セーフティネットワークと共催で地区の防災士さんが講師となり、各自治会に出向して行う「出前防災講座」を開催しました。

昨年の11月1日に大休団地で、12月2日に仁保の上と2回開催して、防災士さんがそれぞれの自治会の地形などを分析しながら、パワーポイントを使って風水害を中心とした災害発生について色々話をして頂き、皆さん自分の身を守る一助になったと思います。来年度、防災講座を希望される自治会は、ぜひ有帆公民館(84-4090)までお問合せを。



大休団地自治会館にて

知っちょよる有帆

有帆小学校に「牛森様」それなあ～に？

昔、有帆小学校の敷地は一面田んぼでした。昭和28年、そこを小学校の敷地にする時、現在の旧給食棟傍にある牛森様がまつってある所は、5畝四方の森になっていて、そこに立っていた祠(昭和14年6月建立)をそのまま残したものです。

牛森様をまつる由来は、昔から農耕は牛馬で行われていたため、牛馬は大切に扱われ、牛馬が死んだとき粗末にすることができず、ここに埋めてこれをまつったものです。今は有帆小学校の児童や教職員の安全を祈願して、春と秋にそれぞれ牛森様でまつりが行われています。(別府八幡宮 宮司様の話)

昨年11月13日の秋まつりに参加した育友会副会長の田熊麻理子さんは「豊かな土地を築き、今日も子どもたちを見守って下さっている牛森様。感謝をお伝えする伝統ある大祭に声をお掛け頂き、大変

幸せに思います」と言われ、子どもたちがいつまでも元気に過ごすことを願っておられました。



牛森様の秋まつり



行事予定

【1月～3月】

1,715世帯	人口 3,877人
男 1,868人	女 2,009人
(12月1日現在)	

1月

- 5日(土) 中国料理教室
- 8日(火) 知って得する講座(禅の心)
- 14日(月) どんと焼き
- 25日(金) 1日限りのおやじ食堂(男性料理教室)
- 27日(日) 有帆セーフティーネットワーク研修会



2月



- 5日(火) 知って得する館外講座(給食センター見学&試食会)
- 12日(火) 知って得する講座(ハンセン病問題から学ぶ)
- 22日(金) 地区社協 第2回食事宅配サービス
- 28日(木) 特別講座 ポーセラーツ教室

3月

- 15日(金) 地区社協 第2回会食会
- 17日(日) ふれあいウォーキング



☆スマイル有帆ニュース☆

～コウノトリが来たよ～



11/6に有帆川に現れたコウノトリ



足環

昨年の9月下旬、有帆に現れたコウノトリは、絶滅危惧される鳥類で国の特別天然記念物に指定されています。このコウノトリは、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷公園から飛んで来ており、両足について足環の色で1羽ずつを識別しています。

11月6日には有帆川にコウノトリが6羽も飛んで来てびっくり！赤ちゃんを運んでくるという話もあるコウノトリ、来年も有帆に飛んで来て欲しいものです。

県選奨受賞 祝 ボランティア有帆会

昨年11月19日、ボランティア有帆会は住民の福祉の増進に関し、特に顕著な功績があった団体として、山口県知事から選奨状が授与されました。これは社会福祉功労部門で、県内1団体という価値ある表彰です。

同会の藏重会長は「昭和48年発足以来、ボランティアの会を支えて下さった皆様のお陰で立派な賞を頂き、感謝しております」と言われました。おめでとうございます。



ボランティア有帆会の皆さん

♡あいほ♡ふるさと絆リレー

①私の信念又は好きな言葉 ②地域への思い ③次にリレーする人へ一言

10	藤田浩二 (フジコー)
	① 継続は力なり
②有帆に住んで17年、ここ数年で有帆の行事にも参加させて頂くようになりました。飲めないお酒を頑張って飲みながら、有帆に貢献していきます。	
③若者の仲間をもっと増やせるように、楽しい雰囲気作りをお互い頑張りましょう。	

11	瀬口康道 (やっちゃん)
	① なんくるないさー しっかりやること やってればあとは どうにかなる！
②有帆が好きな人たちと楽しく地域活動をしています。輪を広げより住み良い楽しい有帆にできたらなと思っています。Ariho赤Tシャツほしい方は藏重まで！	
③剪定、草刈り、保田さんのお陰で有帆は綺麗です！	

12	保田謙二 (やっさん)
	① やった分だけが 自分のもの！ コツコツが骨
②私のまわりには活発に地域活動に参加している人が多いです。積極的で心やさしいそんな人たちと居ると私もその人になれる気がします。	
③いつもそれとなくしている地域へのお手伝いにはとても感謝しています。	

大休団地の「やっちゃん」さんにバトンタッチ

大休団地の「やっさん」さんにバトンタッチ

⇒ 次号、角石の松本さんへ続く